

北海道

札幌

札幌ランドホテルが本館建替え、2018年の営業再開をめざす

グランビスタホテル&リゾート（東京）は2月2日、札幌大通にある「札幌ランドホテル」の本館を建て替える方針であることを明らかにした。外国人を主な富裕層の個人旅行者を想定し、22125㎡だったダブルルームを40㎡以上に拡張、居住性を高めるとともに高級化を図る。

本館の休業に備えて、2013年には東館客室の改装に着手。約4億円を投じて、2室を1室にするなど3年計画で客室の充実を進めて収益力を強化。15年中には本館の解体に入り、18年の営業再開をめざす。

同ホテルは1934年開業。客室は本館、別館、東館の3棟合わせて561室あるが、再開後は半分程度まで減らす考え。同時に耐震補強工事も進める意向で、総事業費は約100億円を想定する。

合わせて別館の改装も検討されており、商業施設の他に医療モジュールの

誘致などを想定。医療ビザの発給が開始されることから、検診や治療目的に訪れる外国人の宿泊需要増加にも対応を図る。

3井観光開発を前身とするグランビスタホテル&リゾートは、大和証券SMBBCプリンシパル・インベストメントが筆頭株主になって経営再建を進めており、旗艦ホテルである札幌ランドホテルの売上高は約2割を占める。

ニセコ

YTLのトップが来日。ニセコレゾートの全体構想が明らかに

ニセコ町東山地区で大規模リゾート「ニセコビレッジ」を所有・運営するマレーシアの大手建設コンクリート、コポレションのフランシス・ヨ1社長が昨年末に来日。同リゾート内で改装オープンしたホテル「ザ・グリーナーフ・ニセコビレッジ」の披露パーティに出席し、その後の記者会見で同リゾートの全体構想を明らかにした。

計画では既存のホテル、スキー場の他に、高級住宅、高級リゾートが入るショッピングセンターなどを10年かけて建設する。その第1弾として、今年6月に4棟、計125戸の分譲リゾートマンション「ビノデビル」の建設に着手。13年開業の予定。

YTLではニセコを最大の投資先と位置付けており、10年後には「東洋のアスペン」と呼ばれるぐらいの高級リゾートを整備。しかも、日本の文化や芸術を取り入れた最高品質の開発を進めることで、東南アジアに住む富裕層への販売をめざす。

羊蹄山を望むニセコアンスプリの麓に位置する同リゾートは、米国籍のタイグループが所有していたが、昨年3月にYTLが子会社のYTLホテルズ・アンド・プロパティーズを通じて約60億円で購入した。

帯広

JRイン2号店を帯広に開業。JR北海道がホテル事業を拡大

JR北海道（札幌市）は、帯広駅前で取得した、ホテルヒローを「JRイン帯広」として今夏開業する。札幌駅近隣に08年10月にオープンした「JRイン札幌」に続く宿泊主体型のブランド「JRイン」の2号店となる。

9階建て、延床面積4305.0㎡。客室はシングル130室、ツイン7室の137室。運営は同社の100%子会社で、帯広駅南口で「ホテル日航ノースランド帯広」を経営するJR北海道ホテルズが入行などにより、JR北海道では、人口減などにより鉄道収入の減少傾向は続くこと予測されることから、ホテル事業の強化

を図る考え。現在の5施設を20年度までに10施設に倍増する。

現在整備を進めている旭川駅新駅舎前にもホテルを計画している。こちらにもシングルと他にツインやファミリールームを備えた宿泊主体型を想定。ホテル単独とするか複合ビルのテナントのひとつとして入居するかは未定で、客室数は200室程度になる見込み。14年度中の開業を予定している。

旭川駅前では、同社はすでに「旭川ターミナルホテル」を運営しているが、老朽化が進んでいることから、新ホテル開業後に営業を継続するかどうかも検討されている。

函館

恋人の聖地。で人前式を行なうウェディングプランを企画

函館港に面して建てた「函館国際ホテル」は2月末から、津軽海峡フェリー「函館ターミナル」にあるハート型モニュメント前で人前式を行なうウェディングプラン「バイサイドセブンエープラン」の受付をスタートした。同ターミナルは以前から、恋人の聖地と呼ばれる隠れた人気スポット。フェリーの青森ターミナルが昨年12月に開業した東北新幹線青森駅から近いことを受け、道外のカップルの獲得とフェリーのPRを兼ねて同ホテルと津軽海峡フェリーが共

FRONT SYSTEM

経営の心臓部
フロント業務を
使いやすくシステム化

500シリーズ
ならではの特長

- 実務を知り尽くしたシステム設計
- 高機能でコンパクトな画面表示
- 宿泊管理情報を最小限化、効率化
- 将来戦略に役立つ集計・販促データ
- 入力画面のブロック化、カラー分割表示
- 導入費用の軽減



予約管理

フロント会計管理

客室管理

集計管理

顧客管理システム

売上分析

インターネット予約

他機能多数

株式会社アイックプラン
〒227-0063
神奈川県横浜市青葉区榑が丘6-1 B-503
TEL 045-988-0456 FAX 045-988-0457
URL <http://www.aick.co.jp>
E-mail info@aick.co.jp



(資料請求番号 0050)

中小規模用ホテル・旅館専用フロントシステム500シリーズ

扱いやすく多機能。複雑多岐なフロント業務を正確に素早く処理するばかりか、館内情報管理、経営情報管理、販促など膨大な情報を的確に処理する高性能システムです

●札幌後楽園ホテルが名称変更
札幌市の「札幌後楽園ホテル」(285室)は4月1日、名称を「東都エムホテル札幌」に変更する。首都圏エリアにおける東都エムホテルの知名度を生かし、道外からの積極的な誘客を図るのが狙い。1988年開業の札幌後楽園ホテルは、2

Topics
トピックス

同開発した。
挙式は早朝から22時頃までフェリーの運航時間に合わせて対応。初日の出を見ながらの挙式なども提案していく。料金は挙式料、衣裳代などすべて揃えて21万円。生演奏や衣裳のランクアップなどのオプションにも対応する。

年前に大規模改装を終えているため、名称変更に合わせてリニューアルは行なわない予定。
●廃熱栽培のアスパラガス収穫
夕張市の「ホテルマウントレイズ」の敷地内では、温泉の廃熱を利用して特産品であるグリーンアスパラガスのハウス栽培を行なっているが、1月下旬から収穫が始まった。北海道大学北方生物園フィールド科学センターなどが参加する地域振興プロジェクトの一環で、同センターとホテルを運営する夕張リゾートなどが栽培に取り組んでいる。
●中国語会話のできる人材を派遣
人材サービスのキャリアバンク(札幌市)はこのほど、中国語会話のできる人材の紹介・派遣事業を開始し

た。中国本土、香港、台湾などから北海道を訪れる観光客が急増し、観光施設からの需要が高まっていることから事業に着手。現状は、ホテルレストラン、土産物店などが、中国語を話せるスタッフを雇いたいというニーズがあるにも関わらず、条件面の交渉等で折り合わずに短期間で離職してしまうことが多いという。同社は中国から来た留学生や中国語を学んでいる日本人学生と企業とを結び付け、需要と供給のミスマッチを解消するのが狙い。
●全従業員に英会話研修を実施
札幌市の「JRTタワーホテル日航札幌」は4月から、バートアルバイトスタッフを含め約300人になる全従業員に英会話の研修を実施する。フロントやレストランなどの接客時

に使う表現などを中心に学んでもらう。急増する外国人観光客へのサービス強化を図る。1回1〜2時間のレッスンを、宿泊とレストランの部門別に各6回行なう予定。
●開散期の集客を図る企画続々
白老町虎杖浜温泉の宿泊施設では開散期となる冬場の集客を目的にさまざまな企画を打ち出している。湯元はくよう、ホテルオーシャン、ホテルいずみ、リゾートオーシャン、ホテルパラダイ、心のリゾート海の別邸ふる川の5軒では、前浜産の旬の魚介を使った海鮮鍋付き宿泊プランを3月31日まで提供。役場、商工会、観光協会が共同企画したもので、レシビは各館が独自で考えた。また、ホテルいずみでは日帰り客に客室を提供するサービスも開始している。